

令和5年度
舞台芸術等総合支援事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)

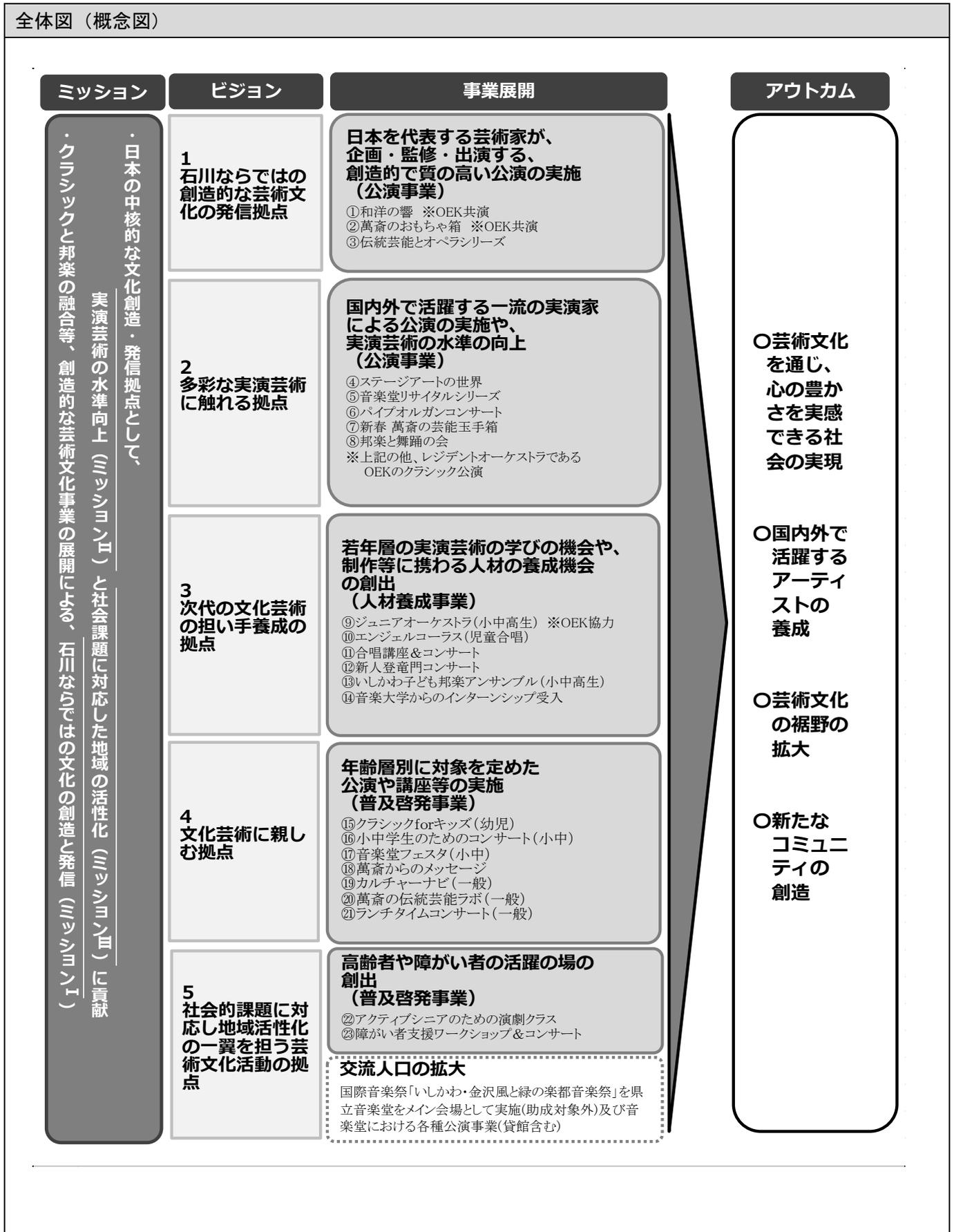
自己点検報告書

団 体 名	公益財団法人石川県音楽文化振興事業団	
施 設 名	石川県立音楽堂	
助 成 対 象 活 動 名	いしかわ芸術文化創造発信事業	
助 成 期 間	5	(年間)
内 定 額	58,817	(千円)

1. 事業概要

(1) 事業計画の概要

全体図（概念図）



(2) 令和5年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	和洋の響	2024年2月12日	監修・案内役：池辺晋一郎 指揮：垣内悠希 能舞：鶴澤久(観世流) 他	目標値	920
		コンサートホール		実績値	600
2	MANSAI CREATION BOX ～ 萬斎のおもちゃ箱～	2024年2月22日	プロデュース・演出・舞：野村萬斎 舞：中村壺太郎、箏：LEO 管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢 他	目標値	1,350
		コンサートホール		実績値	1,150
3	伝統芸能とオペラシリーズ	2024年3月17日	監修：池辺晋一郎 新作落語 出演：林家彦いち オペラ「HELP! HELP! 宇宙人がやってきた」作曲：メノッティ	目標値	600
		邦楽ホール		実績値	550
4	ステージアートの世界	2023年12月27日 28日	27日「くるみ割り人形」ハイライト 28日「バレエガラコンサート」	目標値	2,000
		コンサートホール		実績値	2,050
5	音楽堂リサイタルシリーズ	2023年7月29日 12月13日	①鳥木弥生、城宏憲 他 ②小山実稚恵	目標値	1,400
		コンサートホール		実績値	1,100
6	パイプオルガンコンサート	2023年6月22日	オルガン：オリヴィエ・ラトリー	目標値	500
		コンサートホール		実績値	630
7	新春 萬斎の芸能玉手箱	2024年1月28日	舞踊：野村裕基、中村鷹之資 狂言：野村萬斎、野村太一郎 舞楽：東京楽所	目標値	640
		邦楽ホール		実績値	700
8	邦楽と舞踊の会	2023年8月26日	地唄舞：吉村古ゆう、富田清邦 長唄：尾上菊之丞 他 義太夫：井上八千代、井上安寿子 竹本駒之助、鶴澤津賀寿 他	目標値	450
		邦楽ホール		実績値	650
9	ジュニアオーケストラ	通年	指導者：松井慶太(OEK金沢指揮者) 楽器指導：OEK楽団員 地元音楽関係者	目標値	55
		石川県立音楽堂内		実績値	71
10	エンジェルコーラス	通年	月2～3回程度の練習	目標値	35
		石川県立音楽堂内		実績値	18
11	山田和樹監修 未来への メッセージ ～合唱講座 &コンサート～	2024年1月～3月	監修：山田和樹 指導：東京混声合唱団メンバー	目標値	100
		交流ホール他		実績値	450
12	新人登竜門コンサート	2023年5月21日	指揮：広上淳一 管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢 ソリスト：オーディションで 選ばれた声楽家 8名	目標値	700
		コンサートホール		実績値	460
13	いしかわ子ども邦楽アン サンブル	通年	邦楽囃子：藤舎呂英 他 長唄(唄、三味線)：松永忠一郎 他 箏：元井美智子、石川県箏曲連盟	目標値	20
		石川県立音楽堂内		実績値	12

14	インターンシップ	2023年7月11日～ 2024年3月14日～ 石川県立音楽堂内	ホール業務（施設管理や事業制作・ 運営、広報など） 各種公演・レジデントオーケストラ （OEK）の運営業務 など	目標値	2
				実績値	2
15	クラシック for キッズ	2023年6月18日 2回公演 交流ホール	かがやきプラス（金管五重奏） RAISE&GROW Dance Studio（ダンス） 他	目標値	400
				実績値	560
16	小中学生のためのコンサ ート	2023年8月6日 コンサートホール	指揮：石崎真弥奈 パイプオルガン：黒瀬恵 演奏：ガルガン・アンサンブル	目標値	600
				実績値	750
17	音楽堂フェスタ	2023年8月6日 交流ホール	邦楽・洋楽・演芸等のワークショッ プ	目標値	300
				実績値	400
18	萬斎からのメッセージ	2023年8月5日 交流ホール	出演：野村萬斎、元井美智子（箏）、 藤舎呂英（鳴物）	目標値	500
				実績値	420
19	カルチャーナビ	2023年 ①7/11 ②9/13③9/26④11/3 交流ホール	①村上湛②広上淳一、リチャード・ ストルツマン ③吉野直子、マリー＝ピエール・ラ ングラム ④池辺晋一郎、広上淳一 ナビゲーター、演出：野村萬斎 尺八・編曲：藤原道山 能シテ：大槻文藏、大槻裕一 太鼓：前川光範 箏：日原暢子	目標値	400
				実績値	377
20	萬斎の伝統芸能ラボ	2023年8月30日 交流ホール	尺八・編曲：藤原道山 能シテ：大槻文藏、大槻裕一 太鼓：前川光範 箏：日原暢子	目標値	300
				実績値	360
21	ランチタイムコンサート	①5/15②7/4③9/11 ④11/7⑤1/19⑥3/5 コンサートホール	①黒瀬恵②オーケストラ・アンサンブル金沢 （OEK）弦楽四重奏③平野加奈、風李 一成④青島広志 他⑤黒瀬恵 他 ⑥望月太満衛 他	目標値	3,000
				実績値	2,965
22	輝け！アクティブシニア のための演劇クラス	2023年9月～2月 石川県立音楽堂内	総合プロデューサー：西村まさ彦 講師：関口静夫、中易百恵	目標値	30
				実績値	60
23	ミライへ繋ぐ音楽会～障 がい者支援ワークショップ &コンサート～	2024年1月20日 21日 交流ホール	講師：東京藝術大学講師、地元アー ティスト 協力：金沢大学子どもこころ発達 研究センター、県内の特別支援学校	目標値	50
				実績値	130

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が進められているか。</p> <p>当館は、石川県の文化的背景、石川県立音楽堂の特徴を踏まえ、クラシックと邦楽の融合等、創造的な文化事業の展開による、<u>石川ならではの文化の創造と発信</u>（ミッションⅠ）、日本の中核的な文化創造・発信拠点として、<u>実演芸術の水準向上</u>（ミッションⅡ）と<u>社会的課題に対応した地域の活性化</u>（ミッションⅢ）に貢献するというミッションを掲げ、『いしかわ芸術文化創造発信事業』を実施。</p> <p>ミッション達成に向け、①石川ならではの創造的な芸術文化の発信拠点 ②多彩な実演芸術に触れる拠点 ③次代の文化芸術の担い手養成の拠点 ④文化芸術に親しむ拠点 ⑤社会的課題に対応し地域活性化の一翼を担う芸術文化活動の拠点 というビジョンを設定した。それぞれのビジョンには</p> <p>①②公演事業 池辺晋一郎洋楽監督、野村萬斎邦楽監督の監修・出演を中心とした創造的で質の高い公演 ③人材養成事業 若年層の実演芸術の学びの機会や、制作等に携わる人材の養成機会を創出する事業 ④⑤普及啓発事業 年齢層別に対象を定めた公演や講座、高齢者や障がい者の活躍の場の創出を図る事業を連関させ、その達成に向けて着実に取組を推進した。</p> <p>事業番号1において一部出演者や曲目の変更等があったが、事業計画に必要な構成要素を有機的に連関させ、当初の予定通りに事業が進めることができた。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p> <p>当館では、ビジョンの実現に向けた取組方針として下記Ⅰ～Ⅴを設定し、それぞれ具体的な事業を実施した。</p> <p>Ⅰ. 日本を代表する芸術家が、企画・監修・出演する、創造的で質の高い公演の実施 Ⅱ. 国内外で活躍する一流の実演家による公演の実施や、実演芸術の水準向上 Ⅲ. 若年層の実演芸術の学びの機会や、制作等に携わる人材の養成機会の創出 Ⅳ. 年齢層別に対象を定めた公演や講座等の実施 Ⅴ. 高齢者や障がい者の活躍の場の創出</p> <p>文化的意義</p> <p>上記Ⅰ、Ⅱに該当する公演事業の実施により、指標の一つである「創造的な公演事業における県外からの来場者率」が18%と目標を上回った。また、「他館との連携公演の実施」についても目標を達成。</p> <p>多様で質の高い公演の提供や、伝統芸能と現代の文化を融合させるなど、わが国の文化的資産を豊かにし、新しい文化的価値を創造することに寄与できた。</p> <p>上記Ⅳに該当する普及啓発事業では「公演や講座の入場者満足度」において目標を上回る98%を達成。</p> <p>地域の特性やニーズに応えたプログラムを実施することにより、県民の幅広い期待に応え、地域の芸術文化の発展を促進できた。</p> <p>社会的意義</p> <p>上記Ⅲ、Ⅴに該当する事業を通じ、子どもや高齢者、障がいを持つ人々に対する取組み等、様々な年齢層や社会背景を持つ人々が参加できるプログラムを提供することで、社会的包摂の促進に寄与できた。地域住民が集まる場を提供し継続することで、コミュニティの強化に繋がり地域社会の一体感や連帯感が醸成されると考える。</p> <p>経済的意義</p> <p>有効性にて後述の指標③について、「県外からの来場者率」の目標を達成できた。併せて助成対象事業において、入場者数合計14,465人のお客様にご来場いただき、直接的、間接的に地域経済に貢献できたと評価する。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成し、アウトカムの発現は可能か。

★目標① 洋楽と邦楽が融合する舞台など、当館の専門性・芸術性・独自性とホールの特徴が十分に発揮され、

観客の高い満足が得られる創造的な事業の展開

- 指標① 公演事業の入場者満足度 目標：95%以上（事業番号①～⑧） →実績：98%
指標② 創造的な公演事業の入場者率 目標：定員の70%以上（事業番号①～③） →実績：72%
指標③ 創造的な公演事業における県外からの来場者率 目標：15%以上 →実績：18%
指標④ 他館との連携数 目標：年間1公演以上（事業番号②、③） →実績：2館
→全ての指標について設定値をクリアすることができたことから、概ね、目標を達成したものとする。

★目標② 国内外で活躍する実演家の輩出、増加

- 指標⑤ 国内外の一流の実演家と共演する地元実演家数の増 目標：毎年15人以上（事業番号①～⑧）
→実績：51人
指標⑥ オーディション選出者にレジデントオーケストラのOEKと共演する貴重な機会を提供
目標：5年間で15人以上（事業番号⑫） →実績：8人（R5年度）
指標⑦ 県内にとどまらず国内外で活躍するオーディション選出者の増加
目標：5年間で累計17人以上（新たに1人以上）（事業番号⑫） →実績：0人
→3つの指標のうち2つについて設定値をクリア。概ね目標は達成したものとする。

★目標③ 文化芸術の担い手の増加及び文化芸術への幅広い層の興味・理解の促進・鑑賞者数の増加

- 指標⑧ ジュニアの音楽事業及び合唱講座の活動人数の増
目標：事業番号⑨ 55人 事業番号⑩ 35人 事業番号⑪ 100人
事業番号⑬ 20人 毎年合計210人以上 →実績：251人
指標⑨ インターシップの受入人数の増 目標：年間2人（事業番号⑭） →実績：2人
指標⑩ 普及啓発事業にかかる公演や講座の入場者満足度95%以上（事業番号⑮～⑳） →実績：98%
指標⑪ 公演事業全体における来場者数 目標：毎年7,000人以上（事業番号①～⑧） →実績：7,430人
指標⑫ 石川県立音楽堂の利用者数の増 目標：年間15万人以上（事業番号①～⑬） →実績：188,828人
→全ての指標について設定値をクリアすることができたことから、概ね、目標を達成したものとする。

★目標④ 高齢者及び障がい者が文化に携わる機会の拡大

- 指標⑬ 音楽堂での高齢者向けの文化活動クラスの実施回数
目標：毎年12回以上（稽古11回以上、成果発表会1回）（事業番号㉒） →実績：23回以上
指標⑭ 音楽堂での文化活動を行う高齢者数 目標：年30人以上（事業番号㉒） →実績：70人
指標⑮ 音楽堂での障がい者向けのワークショップの実施回数 目標：毎年2回以上 →実績：2回
→全ての指標について設定値をクリアすることができたことから、概ね、目標を達成したものとする。

全ての指標において目標を概ね達成した。この結果は、当館の計画と実行が効果的であり、設定された目標に対して適切にリソースが投入できたと思う。また、具体的な成果や高い満足度、参加者数の増加などから、多くのポジティブなアウトカムが発現している。指標⑦国内外での活躍者の増加については未達成であるが、目標②において3つの指標のうち2つ(⑤⑥)は設定目標を上回る成果を出している。5年間の目標に対しては順調に進捗しており、目標達成に向け、今後も取組を推進していく。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

令和5年度において、事業期間による支障はそれほど生じず事業を実施することができた。先述有効性において示したとおり、アウトプットに対し指標は概ね目標値をクリアしている。したがって事業期間内に計画通りに進行できた。

事業番号①「和洋の響」において、当初予定していたソリストが海外公演との調整にて出演不可となり、内容を変更することとなった。変更が生じたが、新作公募の事業であり、新作の審査後公演全体のバランスを協議し、出演者と演目の再調整の後、事業内容の確定となった。広報にも遅れが生じたが、従来からのチラシの配布、DMの送付やSNSでの発信に加え、金沢駅前でのPRや、近隣企業へのチラシ等のポスティング、各種業界団体の会合等に出向いてPRするなど、広報期間の不足を補う活動を強化した。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

令和5年度助成対象経費の決算額は要望時に対し18.5%のマイナスとなった。

大きく乖離が生じた事業としては、演出・舞台プランを発展させるため、当初予算の35%増となった事業番号②である。事業計画全体の予算に対しては18.5%の減に留めたが、各公演においては増減のバラツキがあり、要望時の積算をさらに精査する必要がある。収支バランスを図りながら、目標（ビジョン）達成に向けて着実に取組を推進していく。

(4) 創造性

自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている（と認められる）か。

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

当館における地域の文化拠点としての機能（資源）は後述のとおりであり、当館の事業はこうした特性を最大限に活用する事業を実施。

【当館における機能（資源）】

(1) キーパーソン

洋楽監督（池辺晋一郎）・邦楽監督（野村萬斎）・広上淳一（OEK アーティスティックリーダー）を軸とし、芸術活動に方向性と系統性・持続性を持たせ、芸術内容を深化させることができた。

(2) 専属団体

専属団体であるオーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）を有することで、オーケストラを活用した事業を柔軟に企画展開することができる。さらに、関連する団体（ジュニアオーケストラ、いしかわ子ども邦楽アンサンブル、合唱団 等）を通し、地域と有機的なネットワークを形成し、会館の支援団体としての機能を持たせることができる。

(3) 建物設備等

当館はコンサートホール、邦楽ホール、交流ホールと3種のホールを併せ持ち、それぞれのホールの特性に合わせた事業を展開。

当館の舞台技術スタッフ（業者）は、当館の特性および舞台を熟知する専門家として、計画的な機材の点検、補修、更新を実施し、会館の機能向上に大いに資する存在である。

独創性

当館では、洋楽と邦楽の双方を重視し、異なる文化を融合させたプログラムを提供している。池辺晋一郎氏、野村萬斎氏、広上淳一氏といった芸術家が監督として参加し、独自の視点と専門知識を活かして独創的な事業を展開できた。

①「和洋の響」邦楽器の演奏を採り入れた新曲演奏によりオーケストラ、邦楽双方の可能性を広げ、若手作曲家の発掘・育成に取り組んだ。当シリーズ第1回目（2021年2月）に制作・発表した作品が2024年5月京都にて再演された。

②「萬斎のおもちゃ箱」野村萬斎邦楽監督ならではの能狂言の手法による演出により、クラシック音楽の中でも物語性や親和性のある作品を採り上げ、OEKを活かしたスペクタクルでクリエイティブな舞台を新たに創り上げることができた。東広島芸術文化ホール指定管理者、公益財団法人鳥取県文化振興財団と連携をし、鳥取、東広島両市にて当公演の実施が可能となった。「東京でも同公演を実施してほしい」等の意見も頂いた。継続して創造的な舞台を創り上げるとともに、他館との連携に取り組んでいく。

③「伝統芸能とオペラシリーズ」内容に関連をもたせた新作落語とオペラの二本立て公演とし、オペラファンの裾野拡大に取り組んだ。客席の大人と子どもの反応は、ダブルビルの効果が見事に発揮された。（以下引用：音楽の友 2024年7月号 Concert reviews）伝統豊かな文化都市の底力をみせた。

新規性

独創性に通ずる部分もあるが、毎年新しいテーマやコンセプトを導入し、観客に新しい体験を提供できるよう努めている。

④「萬斎の伝統芸能ラボ」能・狂言、邦楽などの伝統芸能に、野村萬斎がアート・演劇など、現代的な手法を用いて演出するという趣旨で実施。映像、照明、音響を駆使し、一流の演者が創意工夫を凝らした舞台は、伝統芸能をアップデートするという演出・野村萬斎の意図を表現できた。地元の舞台スタッフもクリエイティブな現場

自己評価

先導性

海外でも評価の高いオーケストラ・アンサンブル金沢を核とする公演の実施や、当館の音楽監督3氏を中心とした独創性、新規性で先述の事業等を実施し日本の芸術水準の向上と発展に努めている。

また、人材養成事業や普及啓発事業を通じて、地域の方が積極的に文化活動に参加する機会を提供することで地域文化の活性化を図っている。

④「ステージアートの世界」令和5年度はバレエに焦点を当てた。国内外より定評のあるソリストを起用し、地元のバレエ団と共演する舞台とした。海外から招聘して地元の次世代のバレエダンサーたちが指導や振付を学び、刺激を受けたことは大きな成果となった。多くのバレエ団と共同制作をしたことで、劇場と地元芸術団体との繋がりが強化される一翼となった。

⑧「邦楽と舞踊の会」伝統芸能の第一人者による質の高い舞台芸術を通して、伝統芸能の魅力を伝える企画。邦楽ホールを有する当館の強みでもある。地域の伝統芸能の継承・発展を担う地元邦楽関係者の期待も大きく、地元実演家の共演の場もつくるなど本県の邦楽界の活性化にもつなげることを目的とし実施した。アンケートには「金沢で今回の舞踊を拝見できてありがたい」「身が引き締まり心躍る舞台だった。静と動や心情表現、世界観が素敵」「日本舞踊を初めて観た。しなやかで芯があって習ってみたいと思った」といった意見を頂いた。

県内外から大勢の観客が来場し、伝統芸能の魅力を堪能して頂けた。地元舞踊家も出演するなど、地元の伝統芸能界の底上げに貢献できた。また、同公演の「善知鳥」に出演した吉村古ゆう氏は、令和5年度（第74回）芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。贈賞理由には「善知鳥」での表現も評価されるなど、同公演の実施により、国内外での評価の向上に繋がった。

⑫「輝け！アクティブシニアのための演劇クラス」普及啓発事業の「高齢者」カテゴリとして、演劇を通じて生きがいを見つけることにより、新たな地域コミュニティの形成に貢献することを目的とした参加型演劇公演。シニア世代がプロの演出家の指導のもと、まさに輝く瞬間が生み出された。劇場が文化を通じて地域に根ざし、コミュニティ形成の場を作るという大きな役目を果たす一歩となった。参加応募も定員を超える反響があり、本番集客も満席と、感心の高さを感じた。

⑬「ミライへ繋ぐ音楽会～障がい者支援ワークショップ&コンサート～」障がいのある子どもが参加しやすい文化活動の場を提供。個性を尊重しながら芸術面の可能性を見出し、その才能をのばす手助けをするとともに、参加者同士も交流を深めてもらい、新たなコミュニティの形成を図ることができた。今後も、東京藝術大学社会連携センターや地域の大学・教育機関と連携し、継続的にワークショップ等の事業や共生社会に関する研究の社会実装を実施していく。

当館設定の指標①⑩について目標（アンケートの入場者満足度95%）を達成しており、定量的な面だけではなく定性的な面においても、好意的な意見を頂いている。また、SNSにおいても参加者や来場者の反応は良く、海外からのコメントもあるなど、事業の実施により、徐々に当館の国内外での評価の向上に繋がっている。

(5) 持続性

自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当館組織の構築、強化、維持について、当館中期経営目標（実施期間 令和5年度～令和9年度）を

①入場者数を5年間で5%増加させる。

②利用者（貸館）アンケートによる満足度は引き続き95%以上を維持する。

と設定し、目標達成に向けた適切な運営を行うため、設置者と人事・経営戦略やネットワーク、事業内容など組織活動に関する情報、さらには下記の現状と課題の共有を図りつつ、PDCAサイクルを連結させ、持続的に改善・発展に努めていく。

【人事】

専属団体構成員の転換期（退職期）を迎え、新規の演奏家の獲得を随時実施している。

運営事務局構成員も同時に世代交代を進め、経験を積んだプロパー職員が若手職員へノウハウを継承している。

引き続き、地域住民の理解と支援を得られる施設としての在り方を追求していく。

【劇場・音楽堂等間のネットワーク】

地域や国内の劇場・音楽堂との共同制作事業、共同公演事業を実施。また、全公文の総会や東海北陸支部、県公文協の研修会などに参加するほか、劇音協等との情報交換を定期的に行っている。

【教育機関とのネットワーク】

大学との提携の一環として、例年、昭和音大からのインターンシップ受け入れを実施している。

これまでOEKによる幼稚園、保育園、小中学校、特別支援学校での公演を実施してきた。更に、令和2年度から3年計画で、金沢市内の全中学校で公演する事業を実施した。

【ボランティア】

地域の音楽愛好家によるボランティア団体が当館の事業運営を幅広くサポート。

春の音楽祭では大勢の学生や地域住民をボランティアとして積極的に活用。

ひいては当館のサポーター（顧客）となることも見据えて受け入れを推進している。

【財政支援者】

財源は石川県からの補助金に加え、公演収入、事業参加者からの負担金、民間の助成金の獲得など財源の多様化に努めている。また、財政支援者であるOEKの定期会員数については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向であったが、令和4年度からは入会し易い制度を導入するとともに、入会の働き掛けを強化したところ、増加傾向となった。会員数の回復・増加に向けて更なる事業内容の充実や施設の利用促進に努める。

【施設運営】貸館利用促進のため、ホームページ、フェイスブック、ツイッターの活用、マスコミへの協力など積極的な情報発信を行っている。令和5年度には、より閲覧し易くするため、ホームページの大きなりリニューアルを実施するなど、更なる充実を図っていく。

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

事業計画は、多様な文化・芸術プログラムの提供、地域社会との連携強化、国内外での評価と認知度の向上、効率的な経営戦略と財務管理、人材育成と組織の強化という5つの柱を中心に据えており、アウトカム発現のための目標・指標について概ね達成できたことより、持続的なアウトカムの発現・定着が十分に期待できると考える。